

情報活用能力	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
課題の設定	・体験や活動から疑問に思ったことや自分の知りたいことを考え、表す。	・体験や活動から疑問に思ったことや自分の知りたいことを考え、解決の見通しをもつ。	・学習の目標に合わせて問題を見つけ、解決の手順の見通しを持つ。	・学習の目標に合わせて問題を見つけ、解決のための情報の活用方法を見通す。	・問題とゴールを明確にし、情報活用の計画を立てる。	・問題とゴールを明確にし、解決の道筋をシミュレーションして、情報活用の計画を立てる。
情報の収集	・身近な人に話を聞く ・観察する ・写真を撮影する ・図書を使って調べる	・身近な人に話を聞く ・観察する ・写真を撮影する ・図書を使って調べる	・インターネット検索 ・聞き取りやアンケートなどの調査 ・地図から情報を収集 ・グラフから情報を収集	・インターネット検索 ・聞き取りやアンケートなどの調査 ・複数の地図から情報を収集 ・複数のグラフから情報を収集	・目的に合わせて多様な方法から選択	・目的に合わせて、多様な方法から効率的な手段を選択 ・調査や実験を組み合わせながら情報を収集する。
整理・分析	・情報を比較・分析し、共通・相違の視点で整理する。 ・情報を分析し順序に沿って整理する。	・情報を比較し、共通・相違の視点でまとめる。 ・情報を順序に沿ってまとめる。	・情報を比較し、考えと理由、全体と中心などの関係を見つける。 ・思考ツールを活用し、情報を整理・分析する。（ベン図やクラゲチャートなど） ・複数の情報から全体的な特徴を見つける。 ・まとめた情報を基に自分の考えを持つことができる	・情報を比較し、考えと理由、全体と中心などの関係を見つける。 ・思考ツールを活用し、情報を整理・分析する。（ベン図やクラゲチャートなど） ・複数の情報から全体的な特徴を見つける。 ・まとめた情報を基に自分の考えを持つことができる	・情報を比較し、原因と結果などの関係を見つける。 ・思考ツールを選択し整理・分析し新しい意味を見つけることができる。 ・情報の傾向と変化を捉える。	・情報を比較し、原因と結果などの関係を見つける。 ・思考ツールを選択し整理・分析し新しい意味を見つけることができる。 ・情報の傾向と変化を捉え、類似性や規則性を見つける。
表現・発信	・整理・分析した情報を言葉や図や絵で表現・発信することができる。	・整理・分析した情報を言葉や図、絵や表で相手にわかりやすく表現・発信することができる。	・表現方法を相手に合わせて選択し、表現・発信することができる。	・表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、情報を組み合わせて表現・発信する。 ・相手に伝わるプレゼンテーションを行う。	・目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせて表現・発信する。 ・相手や目的を意識したプレゼンテーション	・目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせ、聞き手とのやり取りを含めて表現・発信する。 ・聞き手とのやり取りを含むプレゼンテーション
情報技術の技能	タイピング 準備・片付け・始め方・終わり方 クリック・ドラッグ クラスルーム→Meet カメラ機能録音・録画 ロイロノート起動・カード作成・提出 共有ノート	タイピング ロイロノート 資料箱・ファイルからカード作成 スクリーンショット スライド（文字を打つ）	タイピング インターネット検索 単語検索、複数キーワード ロイロノート思考ツール スライド （写真の挿入、テキストボックスの挿入）	タイピング ドライブの活用 フォルダの作成 ファイルのコピー・ペースト スプレッドシート（振り返り） スライド	タイピング スプレッドシート・スライドの共有機能	タイピング 様々なアプリケーションから効率的なものを選択して利用
プログラミング的思考	アンプラグドプログラミング （プログラミングカー、すごろくなど） 「順次処理」のフローチャート	アンプラグドプログラミング （プログラミングカー、すごろくなど） 「順次処理」、「分岐処理」のフローチャート	Hour of Code 「順次処理」、「分岐処理」、「反復処理」のフローチャート	Hour of Code アルゴリズム 「順次処理」、「分岐処理」、「反復処理」のフローチャート	スクラッチの基本的操作 アルゴリズム 複雑なフローチャート	スクラッチの基本的操作 アルゴリズム 複雑なフローチャート
デジタルシティズンシップ	PCを扱うときのルール 健康に気を付けたPC利用	情報活用の良さについて考える 人の作ったものを大切に扱う態度を養う	自分の情報を大切にする態度を養う 情報や情報技術を生活に生かそうとする態度を養う	自分や他者の譲歩を大切に扱う態度を養う 情報の発信ややり取りにもルール・マナーがあることを知る	生活の中での情報セキュリティについて知る。 発信した情報の影響について考える。	情報や情報技術の効果や改善点について考える 情報に関する自分や他者の権利について考える